坂田こども園　教育・保育方針

1　**待つ保育**の実践（**自由放任ではない**、専門性に基づいた保育）

「子ども中心の保育実践」

大人が先回り・先取りしない保育

「子どもにとってどうなのか」・子どもを肯定的にとらえる

「○○しなさい」ではなく「どうしたらいいのかな」の伝えるより問いかけるを大切にする。

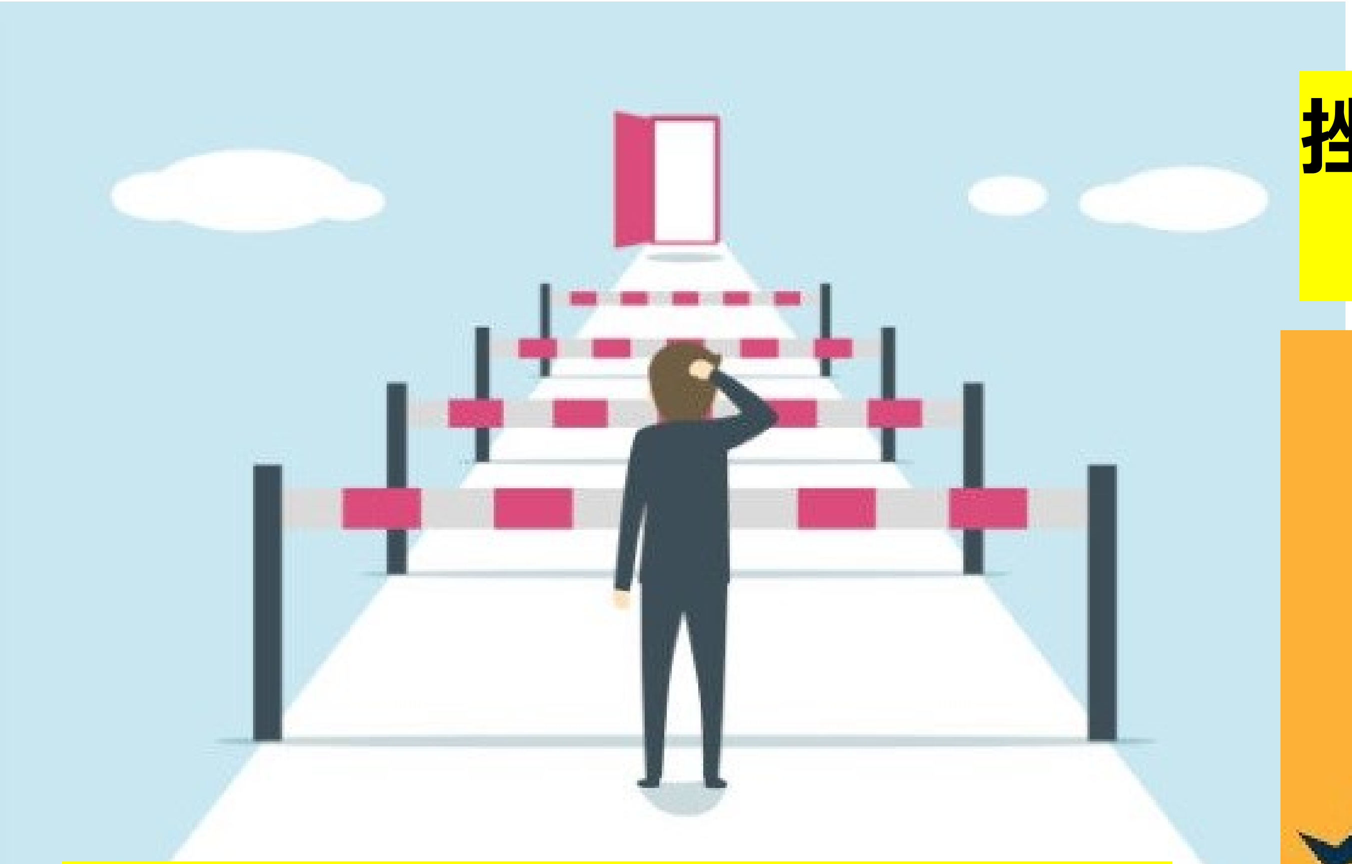
2　園と保護者・地域の人々と子どもたちを育む。

子育ての孤立化を防ぐ。子どもたちの成長の機会を逃さない。

非認知能力は子と親との関りが重要。

教育及び保育とは

幼保連携型認定こども園では教育と保育を区別するのではなく、一体的にとらえて提供していきます。



挫折や失敗は負けではない
生きていくための学び。

目の前の困難に立ち向かう力

遊びの中で試行錯誤を繰り返しながら、粘り強さや考える力を育みます。

人生100年時代の土台作りのために

☆　**人生が始まったばかり**の子ども達にとって大切にしたいこと。

①　園児の興味や関心に基づいた**直接的・具体的な体験**

②　「遊び」を通して行う総合的な「指導」

※「遊び」は学び（教育）です。

※「学び」とは文字や算数など先生が**教えこむ**ことではありません。

③　環境を通して行う教育及び保育

※「環境」とは子どもをとりまく自然・ヒト・ものなどすべてをいいます。園児にとって**よりよい環境**をつくり出すことが大切です。

子どもにとって、よい環境とは

１　よい大人に恵まれる。

２　子ども自身が主体的に興味関心をもって関われる。

３　子ども一人一人が達成感を味わえる。

子どもの達の安心・安全のために

- 職員・保護者との情報共有。

- 子ども自身の危機管理能力の育成。
  （危険に気づく・危険を知らせる・危険を避ける）